

議会だより

発行 松戸市議会
 編集 広報委員会
 千葉県松戸市根本 387-5
 TEL. 366-1111

会議録検索のURL
<http://www.kaijinku.net/kensaku/matsudo/matsudo.html>
 松戸市のホームページ(<http://www.city.matsudo.chiba.jp>)
 からアクセスできます。



桜満開の21世紀の森と広場

3月定例会

平成17年3月定例会は、3月1日から25日まで開催されました。今定例会は、市長から提出された平成17年度予算案や一般議案、市民から提出された請願・陳情が、予算審査特別委員会や各常任委員会で審査され、最終日には、これらの案件のほか、議員提出議案等が上程され、採決されました。(7面に審議結果)

なお、市政に関する一般質問は代表質問5人(5会派)、個人質問3人の合計8人が行いました。

主な内容

- P2~3... 一般質問
- P4..... 一般質問・常任委員会の審査
- P5..... 予算審査特別委員会の審査
- P6..... 予算討論
- P7..... 審議結果・附帯決議・人事案件
- P8..... 市議会表彰・次回発行日・編集の窓
 ほか

3月定例会の日程

- 1日 本会議
 市長の施政方針説明
 教育長の教育施策方針説明
 議案の説明
- 2日 常任委員会
 常任委員会開催(補正予算)
- 4日 本会議
 補正予算の採決
- 7・9・10日 本会議
 市政に関する一般質問
- 14日 常任委員会
 総務財務・健康福祉常任委員会
- 15日 常任委員会
 教育経済・都市整備常任委員会
- 16・17・22・23日
 予算審査特別委員会
- 25日 本会議
 議案・請願・陳情の採決
 議員提出議案の上程・採決

一般質問

3月定例会では、7・9・10日の3日間、市長の施政方針を中心に市政全般にわたる市政に関する一般質問が行われました。

質問者は、まず会派を代表して末松

裕人・佐藤恵子・山口栄作・中村多賀

子・吉野信次議員が登壇し、続いて個

人では中田京・高橋義雄・武笠紀子議

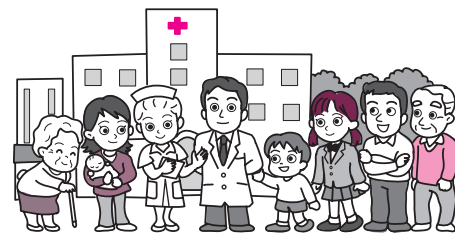
員が登壇しました。（本紙2～4ページ掲載）

（ジ掲載）

案のシナリオ今後の決意は、

答 黒開催分を市が引き受けることについては、黒字計上していることを前提としていたが、平成17年3月に日本選手権競輪を開催しても予想以上に収益が望めない状況となつてしまった。この状態では何らかの財政的援助が必要であることを県に申し入れ、撤退一時金等として県が10億円を市に支払うことと合意し、2月25日に県と市が協定書を締結した。

また、通年開催にあたっては、施行者に義務付けられている事業を除き、施設会社に包括外部委託をする予定である。売上の一定割合を市が先取りし、残った費用で競輪場の経営を全面的に委託する案で、現在施設会社と細部に至るまでの協議中である。施行者が赤字を出さないという点では、全国初となる委託方式であり、試行錯誤的な面もあるが、市と施設会社が両輪となってこの厳しい環境の中で生き残るモデルケースを作り上げたいと考えている。



市立病院建替えの 基本構想について

問 市立病院の建替えについては、新病院のあり方を明確にすべくと考えるが、新病院の経営形態や医療の水準、東松戸病院の機能をどう考えているか。

答 市立病院の建替えについては、平成15年度に策定した総合計画第2次実施計画において、新病院の基本施設計画を策定するため、市立病院整備計画策定事業を計画事業として位置付けている。13年の松戸市地域保健医療計画推進協議会の最終報告や、14年の市立病院整備検討会議の第2次中間報告等において、新病院のあり方を大まかに想定している。新病院の経営形態については、現行の地方公営企業としての経営形態のほか、他自治体との共同設置、新たな手法としてのPFIによる方法や地方独立行政法人といった制度も考えられる。このような選択肢の中から、最も効果的・効率的な経営形態を見出す必要があると考えている。医療水準については、地域

医療の分野において高度な水準の医療サービスを提供するとともに、他の病院や診療所との医療機関連携の要となり、地域全体の医療を見据え、その水準の向上に寄与することが必要であり、地域医療支援病院を目標とするべきものとする。現市立病院もこれらの機能を有しているが、より一層充実しなければならぬと考えている。

東松戸病院については、病院施設としては新病院に統合する方向が有力かと思うが、現在の医療機能をどのようにするかは、今後さらに検討していくものと考えている。これら、新病院のあり方については、今後とも議会と十分な調整を図っていきたくと考えている。

公明党

行財政改革

最少の経費で最大の効果を

問 行財政改革において、平成19年度までに229億円の一般財源不足を解消することだが、進ちょく状況と今後の見通しについて伺う。

答 16年度の目標額49億6300万円に対し、同年5月時点では59億7700万円を解消し、120.43%の達成率であったが、その要因はどの程度と分析するか。15年12月に策定した「行財政改革計画」は、財源不足を解消するための「短期的な改革」と構造的な転換を図るための「中・長

市の環境対策について

紙製ごみ袋の水エチレン化についての状況伺う。また、「ごみ辞典」の稼働はいつ頃になるか。

答 地球温暖化防止のために、都市公団等に太陽光発電および風力発電を設置できないか。

答 紙袋収集は、高柳新田のグリーンセンター建設にあたり、地元住民との約束でプラスチック系を除く可燃ごみを燃やせるごみとして処理している。しかし、多くの市民からごみ袋の材質や大きさについて変更の要望があることか、

現段階では、19年度まで持ちこたえるかを考えたが、もう一方の柱である中・長期的な改革を実現していくのが重要だと考える。行財政改革を通じ、意識改革や業務改善を行い、最少の経費で最大の効果を発揮すると共に、効率性・経済性・有効性を高め、将来への投資を行えるような構造改革を推進していく。

現在、地元住民と協議を行っているところである。カラス対策も含め市民の利便性を考え、要望に応えられるよう努力していく。「ごみ辞典」については、平成17年4月1日から「家庭ごみの分別早見表」として市ホームページに掲載する。この早見表は一般的なごみの種類を品名と50音順にまとめ、分別区分を一覧にしたものである。また、「松戸市ごみ分別ガイド」を市民課・支所等で希望者に配布する予定である。この冊子には早見表のほか、分別区分ごとのごみの出し方も掲載する。

地球温暖化が深刻な状況となっている今日、二酸化炭素などの削減に向け、市民一人ひとりが身近なところから行動していかなければならないと考える。公園行政においても、未来を担う子ども達の環境教育の観点から、自然エネルギーを活用した太陽光発電や風力発電等に取り組みべきものと認識している。有事の際にこれらの発電システムは効果的であることから、広域避難場所に指定されている公園については、関係機関も協議し検討していく。



市民 クラブ

松戸競輪の事業再構築の シナリオについて

問 千手堂の松戸競輪撤退により、競輪事業は極めて重要な局面を迎えているが、事業一元化後の再構

21世紀 クラブ

PFイガイドラインの 策定について

緑地保全について

問 国では平成12年3月、民間資金等の活用による公共施設等の整備等に関する事業の実施に関する基本方針を定め、その後各種ガイドラインが取りまとめられPFイ事業の導入・推進に向けての対応がなされている。また、先進自治体においてもガイドラインの策定から実施方針の策定、事業選定、審査、決定を経て供開始となつて、施設もあるようである。本市でもこの事業を積極的に推進するために、今後の取組と課題についてどのように考えるか。

答 国は「基本方針」を定めた後、13年1月から15年にかけて、PFイ事業実施プロセスに関するガイドライン、「PFイ事業におけるリスク分担等に関するガイドライン」、「VFM（バリューフォーマ）に関するガイドライン」、契約に関するガイドライン（PFイ事業契約における留意事項について）、「モニタリングに関するガイドライン」など、さまざまなガイドラインを発表している。本市では12年度にPFイ事業推進体制を定足させ、PFイ研究会でモデルプロジェクト事業を選定し、シミュレーション等を通じ、PFイ手法の考え方や問題点等について調査・研究したところであるが、その後具体的な建設事業計画がないまま、現在検討事項の一つとなっている。



二十世紀が丘町会「花づくり部」による花壇

問 今後の取組としては、PFイ事業が大規模な施設の建設や大型プロジェクト事業の実施に有効な手法であることから、議会の特別委員会で審議されていき、病院建設の建替えには、有効な手法の立脚点であると考えており、病院建設の候補地選定を進めるとともに、建設手法としてPFイ事業化も視野に入れて研究したいと考えている。

問 施政方針では、緑地保全対策として市内全域の緑の現状を把握し、都市緑地法への対応を行うとともに、緑の基計画見直しのために緑の現状調査を実施し、その方向性について市の基本的な考え方を問う。

答 平成17年4月より、「財団法人まつど市街と水辺の緑化基金」の名称が「財団法人松戸みどり」の花の基金に変更される予定とのことであるが、市内の緑化推進に際し、今後更なる基金の活用と行政との連携についてどのように考えるか。

答 新年度予算において、緑の基本計画の基礎データとなる緑の現状調査費を要求している。調査結果の解析と基本計画の具体的な見直しについては、都市緑地保全法の改正に伴い創設された、新たな制度の導入の検討を含めて平成19年度までを目途としていきたい。財団法人まつど市街と水辺の緑化基金については、平成2年3月に民法第34条に基づき千葉県知事の許可を受けて設立した法人であり、設立15周年を迎えたところである。緑の啓発事業を推進することを目的として、花の愛護団体への助成や緑と花のフェスティバルの開催など、行政の行う緑化施策の補完的な役割を果たしている。今後、本市行政と連携を密にして、更なる事業展開を図りたいと考えている。

日本 共産党

市長の政治理念について

問 市長は憲法第99条の憲法尊重擁護義務、同法第99条の評価と同条を変えようとする動きや同法第25条第1項の国の生存権保障義務について、どのような見解を持っているか。

答 戦後60年となる節目の年に憲法の基本理念である平和について、どのように考えているか。

答 憲法については、わが国の根幹を規定した最高法規と理解している。そして、当然のことであるが、本市政を預かる立場として憲法を遵守し市政運営に取り組んできた。しかし、憲法の個々の条文に対する評価等については、市長として

コメントすることは適当ではなく、また、その立場ではないと認識し、差し控える。

平和については、先に述べた施政方針の中に言葉として出てはいるが、市長として常日頃より心がけていかなければならないものと強く認識している。

わが国は1945年の敗戦によって、荒廃から二度と戦争はしないという誓いの下、平和への歩みを踏み出し60年が経過した。

この間、本市においても昭和60年3月に、「世界平和都市」を宣言し、以来、この趣旨に則りあらゆる機会をとらえて恒久平和を訴えてきたところである。

今後この考えに変わりはなく、引き続き行政としての立場で、広く市民に平和の尊さを訴えていきたいと考えている。

空き店舗対策への 取組は

問 空き店舗対策について、これまでの取組と今後はどのように拡大を図っていくか伺う。

答 平成14年8月から始めた五香さくら通り商店会、「らーめん寺子屋」事業は、本年3月に終了する予定であるが、マスコミにもそのユニークな取組が紹介され生徒も全国から集まり、既に開業し成功している人もたくさんいる。

この2年半の大きな成果としては、さくら通り商店会の元気がPRされ、空き店舗が埋まり始め、にぎわいが戻りつつあると実感している。

また、16年4月から小金のヒコティ西館名店街において、ボックスショップ事業を開始している。この事業は、市が派遣した専門家による指導事業から発展して実現したものだが、現在、これをモデルケースとして市内の他の店に普及できないかと考えている。

市民の 声の21

問 松戸のごみ問題の中で、大きな課題は何か。また、資源循環型社会構築検討委員会の検討状況は、家庭ごみの有料化を提案する状況になるのか。

答 本市は、市街化が進み最終処分場を市内に確保することが困難なため、市外・県外の民間最終処分場に全量、処分を委ねている。ごみの減量および最終処分場の削減を最重要課題と認識し、早期から市民および事業者と協力を進めてきた。さらには平成13年4月から分別区分の見直しを行い、容器包装リサイクル法に基づいた5分別収集から8分別収集に定率し、ごみの減量・リサイクル率の向上および最終処分量の削減に努めてきた。

また、資源循環型社会構築検討委員会で、費用負担の公平性が確保される社会の視点から、家庭ごみの有料化について検討をしようとしており、ごみの減量・リサイクルの施策として、家庭ごみ有料化についての提案がなされると思われる。

「資源循環型社会」の構築には、市民・事業者および行政が、それぞれ責任を持ち、また役割分担を明確にし、協働して築くことが重要である。



問 費用対効果が悪く、水の地域環境が出来ない流域下水道の推進を見直し、再検討すべきではないか。

答 本市の下水道計画は、全体計画面積5720ヘクタールすべてが江戸川左岸流域下水道と手賀沼流域下水道に位置付けられている。

下水道整備は、昭和60年に江戸川左岸流域下水道江戸川幹線が栗山地先に到達して本格化し、平成初期には年間約1500ヘクタールの整備を行い、15年度末に普及率は72.9%に達したところである。一方、下水道整備には多額の建設費が必要とされ、市債をその財源の一部としており、公債費が増大し会計を圧迫している。また下水道事業は地方財政上の公営企業として、独立採算が原則にもかかわらず、財源の多くを一般会計繰入金で補っているのが現状である。

このような状況のため、投資効果の高い地域を重点的に整備を図り年間整備量を約50ヘクタールに縮小したところである。経営の健全化に向けて、事業展開の見直しを実施すべき時期に来ていると考えている。

無所属

行政の計画について

問 実施計画よりも行政改革の方が優先されていないか。また基本構想や基本計画を実現可能にするために見直す考えはないか。

答 行政改革の短期的な改革が実行されない限り実施計画事業の遂行は困難である。重きが置かれていると見られがちの短期的な改革は、第2次実施計画事業を総体的に推進するための手段である。第2次実施計画の見直しと短期的な改革の関連については、短期的な改革の毎年度実施を前提に、計画事業の方向性を検討したい。

基本構想は、将来の基本ビジョンとして認知されており、議会でも議決されている。厳しい状況下で自治体が目指す方向としては大きくずれてはいるかと思っております。達成困難ではあるが今後、努力していきたい。

基本計画は、基本構想実現のために必要な施策を体系的に整理したもので、市民が主体的に参加し各分野の施策展開と地域のまちづくりを進めることとして、基本計画と中・長期的な改革は、実施計画と短期的な改革と同様に目的と手段の関係にあり、実施計画や目標の設定のあり方は整理していかねばならない課題と認識している。

パートナーシップの推進

馬橋駅西口のパリアフリー化について

問 JR馬橋駅西口に松戸市都市整備公社が所有する土地が原則これを民間の所有交換方式を原則

とした開発手法により、西口自由通路のパリアフリー化を図ってほしいという市長陳情を、市はどう受け止め、公社との整合性を図り進めていくのか。

答 JR馬橋駅西口に公社が所有している土地の有効利用および馬橋駅自由通路のパリアフリー化については、地域住民からも繰り返し要望がなされており、市としてもこれに応えるべく公社と連携し検討してきたところである。しかし、パブリック経済圏に起因する長い景気の低迷や公社所有地が新坂川や河川管理道路に面する等の立地的問題もあり、具体化には至っていない。市としても、できるだけ早い時期に方向性を出したいと考えている。

無所属

樹林地の確保とその支援策

問 みどりのボランティア活動ができる樹林地を確保し、活動の場を提供する樹林地所有者への支援策をどのように考えているか。

答 平成15年度から森林ボランティアの育成を目的に、里やまボランティア入門講座を、緑推進委員会や市民団体とのパートナーシップで実施し、2年間で34名の講座修了生を送り出した。その中から八ヶ崎の森の保全を行うボランティア団体が立ち上がり、活動を開始している。市としても、新たなボランティア活動ができる樹林地を確保することは樹林地保全の重要課題であり、市の役割であると認識し、山林所有者の団体である「ふるさと森の会」への働きかけを行っている。さらに、山林所有者への支援策として、緑の条例に基づき、保全樹林地、特別保全樹林地に指定している樹林地に管理費の削減を行っている。

問 行政財産目的外使用の策として、広告看板等の使用料を定めることにより、財源確保に努めるためのものか。

答 まちづくりを育成するための事業、例えば、まちづくりの団体を育成するための講演会、事例研究や地域活性化に取り組む団体への補助など、まちづくりに取り組んでいるところを使用料収入を使っていくきたい。

問 今回の条例改正の政策的に意味するところは、今後、自治体としてこの手法を積極的に取り入れていくということか。

答 さまざまな制約はあるが、新たな職入確保の方策を見つけた上で、新しいまちづくり事業の財源に充てていきたい。

常任委員会の審査から

総務財務 常任委員会

議案第63号
松戸市行政財産使用料条例の一部を改正する条例の制定について

議案の内容
行政財産目的外使用の策として、広告看板等の使用料を定めることにより、財源確保に努めるためのものか。

問 広告看板等により市に使用料が入ってくるが、その使い道について具体的なビジョンはあるか。

答 まちづくりを育成するための事業、例えば、まちづくりの団体を育成するための講演会、事例研究や地域活性化に取り組む団体への補助など、まちづくりに取り組んでいるところを使用料収入を使っていくきたい。

健康福祉 常任委員会

議案第65号
松戸市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

議案の内容
国民健康保険の医療費および介護納付金の増加が見込まれることから、それぞれ保険料率の改正を行う。また、これまで災害等を理由とした場合に限定していた保険料の減免対象を広げるとともに、地方税法の改正に伴い、保険料所得割額の算定方法を変更するものである。

教育経済 常任委員会

議案第66号
松戸市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案の内容
家庭廃棄物の集積場所に出された家庭廃棄物を市長または市長が業務を委託した以外の者が収集し、または運搬することを禁止するとともに違反者に対する罰則規定を設けるためのものである。

都市整備 常任委員会

議案第62号
松戸市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

3月2日および14・15日に各常任委員会が開催され、今定例会に提出された議案および請願・陳情が審査されました。ここでは、その審査の中での質疑・答弁（要点）の一部を掲載します。

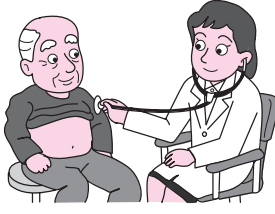


議案の内容
道路台帳現況平面図および道路または水路の境界確定図の写しを提供するための端末機器を導入することに伴い、これらの写しの交付に係る手数料を定めるとともに、地区計画の区域内の建築物の用途敷地面積または壁面の位置に関する特別許可の申請手数料を定めるためのものである。

問 端末機器は5年リースで約80万円とのことだが、消耗品代も含まれているか、またこの導入によりどの程度業務の合理化が図れるのか。

答 リース料金についてはトナリや紙等の消耗品も含めて、年間15万8千円である。

問 本市としては、不法投棄防止パトロールを実施しており、この条例改正に伴い、市内全域を対象にパトロールを実施し、収集等に対しても対応したい。また、その分の道路水路の境界確定業務に増員ができる。このことにより、境界確定期間の短縮化が図れるものと思われる。また、窓口業務の省力化により各種証明書の交付の迅速化および境界確定申請に伴う事前調査の充実化も図れるものと考えている。



予算審査特別委員会の審査から

平成17年度予算案(10会計)を可決

予算審査特別委員会委員

委員長	大川 一利	正美
副委員長	矢部 愛子	能一
委員	名木 浩一	城所 深山
	大井 知敬	箕輪 信矢
	草島 剛彦	真輪 貞衛
	平林 俊彦	松井 小沢
	杉浦 正八	民

予算のあらまし

会計名	予算額(千円)	伸長率(%)
一般会計	106,850,000	12.5
特別会計		
国民健康保険	36,841,153	3.6
松戸競輪事業	30,631,768	311.2
下水道事業	12,854,182	4.5
地方卸売市場事業	384,609	9.6
公設老人保健事業	23,834,127	3.5
駐車場事業	127,718	8.5
介護保険	12,504,529	9.0
計	117,178,086	25.7
企業会計		
水道事業	2,676,554	12.9
病院事業	18,160,958	0.5
計	20,837,512	1.9
合計	244,865,598	3.8

一般会計

総務費

ゆつまつどりリニューアル後
市民の反応は

問 女性センターゆつまつどがリニューアルオープンしたが、その後の利用状況と反応は、その後、リニューアルした平成16年11月から17年2月までの4か月間の利用状況は、子どもの個性を育む学習支援コーナーで661名、働きたい女性の就業支援コーナーは60名、市民活動支援コーナーは189名となっている。

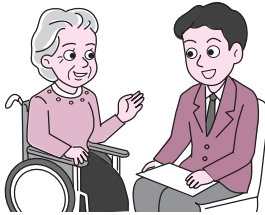
答 反響として子どもの個性を育む学習支援コーナーについては、「こういう場所ができてよかった。」また、「備え付けの絵本等も子育ての参考になる。」という声があった。また、「働きたい女性の就業支援コーナーについては、落ち着いて相談できる。」、「子どもと一緒にいても対応してもらえ。」という声も寄せられている。

民生費

介護相談員派遣業務の
成果と評価は

問 介護相談員派遣業務の成果と評価は、また、その結果を踏まえての今後の課題について問う。

答 介護相談員は利用者の介護所に向き、利用者の疑問、不満あるいは不安等を聴き、それを施



商工費

架空請求被害を
未然に防ぐために

問 最近、少額訴訟制度を悪用した詐欺が出始めています。今までの通知を請求と違い、裁判所からの押さえの对象となってしまう、オレオレ詐欺と併せ、いろいろな事例や防止方法など、誰にでも分かり易い広報活動についての考えは、

答 少額訴訟詐欺については、本人が全く知らない間に訴えが提起され、少額だからといってそのまま2週間放っておくと債務が確定し、支払い義務が生じてしまうというものである。

この問題については、オレオレ詐欺と併せて、町会に回収費を配布しているが、さらに被害防止のために、関係課とともに、より効果の高い啓発方法を検討し、未然防止に努めていきたい。

土木費

歩行者の安全と
交通の円滑化のために

問 松戸駅西口道路整備業務は、ふれあい通りの中に安全・快適な歩道の確保と交通の円滑化のため

に行われるものであるが、内容について伺う。

答 この整備業務については、平成15年5月から地元との協議を開始し、17年3月をもって最終的な案を得たと認識している。この計画は、公共交通を優先させることおよび安全・快適な歩道の確保を基本方針としている。

今後は、商店会に面している二つの通りを一体化し、千葉銀行から伊勢丹へ向かった道路延長185メートルを一方通行とし、両側歩道3メートル、車道4メートルに整備する計画である。今後この案をもつて道路のデザイン等についても進めていきたい。



今後整備されるふれあい通り

消防費

災害発生時の
通信システムは

問 新潟県中越地震発生時に有線電話や携帯電話が不通となり、唯一消防団の通信システムが有効であったとの話があるが、本市ではどのような検討がされているか。

答 地震発生時に電話が不通であったことは認識しており、対策として消防団と相互で通話できるシステムを研究中である。

平成23年以降、現在のアナログ無線方式からデジタル方式への移行が決定しており、この移行の中

教育費

食物アレルギーへの
給食対応は

問 アレルギーのある子どもへの学校給食の対応は、

答 食物に対してアレルギーのある児童・生徒は、年齢によつて少くも動きがあるが、小学生で1.7%から2.5%、中学生で2.2%から2.5%位である。

このような児童・生徒への学校給食の対応については、原因食材を除去できるものは除去し、別の調理形態で給食を作っている。また、食品のなかに成分として入っているなど除去しきれない場合は、弁当を作つてもらつたり保護者の理解・協力を得ている。

食物アレルギーへの対応は、命にもかかわる大切なことであり、給食対応については、医師の診断や保護者の理解、協力を前提として成り立つものと考えている。

企業会計

経営改善への
目標値の基準は

問 市立病院の経営改善を目標としていると思うが、その目標値に対する基準はどのようか。

特別会計

競輪会計

日本自転車振興会交付金等の
目的と積算根拠は

問 日本自転車振興会交付金、全国競輪施行者協議会負担金、千葉競輪協議会等負担金の目的と積算根拠を伺う。

答 まず日本自転車振興会に

については、選手の出場斡旋、審判員・選手の検定および登録などを行っており、自転車競技法により売上に対し一定の率を掛け1号から3号までの交付金を支出している。

次に千葉競輪協議会については、千葉市、松戸市、南関東自転車競技会の4構成団体が、その運営経費として提出している。

問 市立病院の経営改善を目標としていると思うが、その目標値に対する基準はどのようか。

答 市立病院の経営基盤強化策として、毎年、病床利用率、新入院患者数、入院単価、外来患者数、外来単価、平均在院日数、患者紹介率、診療報酬の査定減などの目標値を設定して経営改善に努めている。人件費比率については、公立の類似病院より10%ほど高いが、病院独自に標準化を図りながら、価格交渉を行ったことコスト削減にも努めている。

しかし、官民格差については、十分な分析がなされていないのが現状であり、今後あ一層、詳細に綿密な目標設定ができるよう民間や公立の類似病院と内容比較を行い経営改善に努めていきたい。

平成17年度 予算討論

定例会最終日に、平成17年度予算案に対する討論が行われました。

日産党

一般会計予算、国保・競輪・市場・老人保健・介護保険特別会計予算に反対する。

小泉内閣は今年度、定率減税の段階的廃止1兆6400億円など約2兆4000億円の国民負担増を盛り込み、今後2年間に見込まれる負担増は約7兆円である。そうした中、市民の暮らしを守る自治体本来の役割を本市がどのように果たしていくのかという点に着目して審査にあたった。

まず歳入では、新年度も各種手数料、国民健康保険料、保育料などの引上げという更なる負担増である。市民は悲鳴をあげているので、市民の暮らしを守る行政運営を期待したい。

総務費では、パートナーシップ条例策定委員会が形だけの市民参加に陥らないよう、最大限の注意と努力や工夫をすることや住民基本台帳ネットワークシステムの市民選択制の採用などを求める。

民生費では、支援費制度におけるサービス基盤整備の拡充、乳幼児医療費助成の年齢拡大、老人医療費助成の年齢拡大および基準の緩和、児童館・こども館の増設などを求める。

負担金および成田高速鉄道アウセス株式会社への出資金・補助金の問題点を指摘し、民間住宅耐震診断および改修への補助、道路修繕やU字溝敷設要望への速やかな対応などを求める。

消防費では、防火水槽の整備、救急救命士の養成、防災意識の普及と啓発と自主防災組織への支援、地域防災計画に基づく110が所あまりの公共施設の点検および改修などを求める。

教育費では、30人学級の実現や学校統廃合問題を指摘し、また父母負担軽減対策の抜本的改善、教職員が療養できる支援体制の確立などを求め、一般会計予算に反対する。

国保会計では、保険料減免制度への取組は評価するが、保険料の引上げは市民のためになっていないので反対する。

競輪会計では、地方自治体の財政をキャンブルに頼るべきではないと以前から主張してきたが、新年度は千葉県から開催権を引き受けることになり、大幅な予算増となつていたので反対する。

市場会計では、南北両市場の空き小間が全体の4分の1以上という深刻な状況や借上方式による1市2市場の公設民営の問題点を指摘し、反対する。

老人保健会計では、高齢者の自己負担を増やす制度そのものに問題があることを指摘し反対する。

介護保険会計では、制度の発定当初より国の負担割合を大きく減らしこの問題があることを指摘し反対する。



市民クラブ

市民クラブ、21世紀クラブを代表して、一般会計、特別会計、企業会計の10件すべてに賛成する。

平成17年度は、三位一体の改革の全体像が示されたが、国庫支出金改革、税源移譲および地方交付税の全容はまだまだ明らかでない部分もあり、動向によっては今後の影響も予想される。地方財政を取り巻く環境変化も著しく、自治体においては、新年度の予算編成に苦慮したのもと思われる。

本市においても例外ではなく、市税が4年ぶりに微増になったが、交付税の減や臨時財政対策債が前年比マイナス23.1%と大幅な減

公明党

一般会計、特別会計、企業会計のすべては一般会計予算に賛成する。

度の上、協働の社会でも市民満足した自治体経営について述べたい。平成17年度については、生活者の視点に立つた施策に取組むことを願う。

総務費では、人件費の中の再任用については、人件費は一般職を含めトータルでコスト削減をしていくことである。

となり依然厳しい財政状況である。このような中、少子高齢化や市民ニーズの多様化に対応できる財政構造の弾力性の確保や財源不足の解消を課題として行財政改革に取り組んでおり、今後も改革の推移を見守り健全財政の維持および推進に期待する。

一般会計として総務費では、市民が安心して暮らせるまちづくりを目指した積極的な施策が新年度も実施され、また自転車駐車場管理運営では、最寄りの駅からの距離や高校生以下の料金見直しによる実質の値下げと市民ニーズに応えたものと評価する。

民生費では、高齢者・一番風呂支援事業の開始などユニークな施策もあり今後の展開に期待する。また、社会問題化している児童虐待や少子化問題に対応した施策が展開されており、今後も家庭・地域・行政が一体となった児童の健全育成を図る施策の充実をお願い

減することを求める方針を決めた。目的を持った雇用研修などを行い、一般職を圧することなく、即戦力になるような配置をお願いする。

また、職員採用の年齢の引上げについて、一般社会での経験が活かせるよう組織の活性化、人材の育成のため、今後より明確にした民間経験者の採用を要望する。

民生費では、社会福祉総務費の緊急一時宿泊施設提供業務について評価する。また、次世代育成支援地域行動計画推進事業については、みんなで支え合い、次の世代を担う社会づくりを期待する。

衛生費では、乳がん検診のマンモグラフィは40歳から、子宮がん検診は20歳からへと検診年齢拡大の実施を評価する。不法投棄防止事業の夜間パトロールについては、評価するとともに、引き続き努力を願う。

商工費では、若者就業支援事業について、庁舎内にある従来のパ

衛生費では、小児急病センターが市立病院敷地内に移転することにより、診療時間の拡大など内容の充実が図られるものと期待する。土木費では、新成成一本郷駅へのエレベーター設置に対する補助や引続きノンストップバスター入りに関する助成などパリアフリーの施策がなされ評価する。

消防費では、懸案であった携帯電話からの119番通報受信体制の整備、救急救命士の増員、消防車両や市役所・支所に自動体外式除細動器を配置することなく、救急救命率の向上に対する施策が図られており、今後も市民の安全・安心を守るため、一層の取組をお願いする。

教育費では、松戸市放教育改革を推進する中でパートナーシップに意を配り、子ども連に良い教育環境を作るよう強く願う。

次に特別会計として、競輪会計

ンフレットは評価するが、さらに無料の雇用雑誌を置き、就労支援への努力を願う。

障害者雇用促進については、努力している優良企業を評価し公表を要望する。農産物ブランド化推進について、スパーバーの中に松戸産コナーを作り、イベントの開催など、今後とも努力を願う。

土木費では、既存建築物耐震診断改修促進事業について、昭和56年度以前の建て住みの耐震対策に一層の努力を願う。

市内公園緑地管理事業については、箱型トンネル撤去後、遊具の少ないことから早急な遊具設置を要望する。

では、千葉県の競輪事業からの撤退に伴い本市が引き継ぐことになり、課題は多々あると思われる。今後、競輪に従事する多くの人々との協力により本市財政に貢献できることを期待するが、競輪を取り巻く環境は年々厳しさを増しており、状況判断を見誤ることのないよう強く要望し、賛同する。

病院会計では、市立病院が新年度より電子カルテシステムを稼働させ、電子医療情報の総合管理を開始する予定である。引き続き診療体制の充実と効率のな病院運営に努めるようお願いする。

以上、すべての会計に賛成する。

子どもと親のサポート業務について、児童の悩みや家庭・地域・学校の連携支援のために一層の努力を願う。

特色ある学校づくり推進事業については、スタッフ派遣の評判が良い学校であるので、学力向上や楽しい学校生活づくりを期待する。

特別会計のうち国保会計では、昭和57年以前の滞納分、電話債権の早期回収について一層の努力を要望する。

企業会計のうち病院会計については、診療費をクレジットカードで支払いができるよう検討を願う。また、医療事故対策や院内感染対策は病院長を中心に万全の安全対策を要望する。

教育費では、教育相談事業の子



3 月 定 例 会 審 議 結 果

番 号	件 名	本 会 議 の 結 果	番 号	件 名	本 会 議 の 結 果
市長提出議案			第63号	松戸市行政財産使用料条例の一部を改正する条例の制定について	可 決 全会一致
第40号	平成16年度松戸市一般会計補正予算(第3回)	可 決 多数意見	第64号	松戸市ホームヘルパー派遣手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	可 決 多数意見
第41号	平成16年度松戸市国民健康保険特別会計補正予算(第1回)	可 決 多数意見	第65号	松戸市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	可 決 多数意見
第42号	平成16年度松戸市下水道事業特別会計補正予算(第1回)	可 決 多数意見	第66号	松戸市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決 全会一致
第43号	平成16年度松戸市老人保健事業特別会計補正予算(第1回)	可 決 多数意見	第67号	財産の取得について	同 意 多数意見
第44号	平成16年度松戸市介護保険特別会計補正予算(第2回)	可 決 多数意見	第68号	教育委員会委員の任命について	同 意 多数意見
第45号	平成16年度松戸市水道事業会計補正予算(第1回)	可 決 多数意見	第69号	固定資産評価員の選任について	同 意 全会一致
第46号	平成16年度松戸市病院事業会計補正予算(第2回)	可 決 全会一致	議員提出議案		
第47号	平成17年度松戸市一般会計予算	可 決 多数意見	第26号	議案第49号平成17年度松戸市松戸競輪特別会計予算に関する附帯決議	可 決 多数意見
第48号	平成17年度松戸市国民健康保険特別会計予算	可 決 多数意見	平成16年度請願		
第49号	平成17年度松戸市松戸競輪特別会計予算	可 決 多数意見	第1号	公立小・中学校教科書採択地区の適正規模化を求める請願	継 続 審 査
第50号	平成17年度松戸市下水道事業特別会計予算	可 決 多数意見	第2号	すべての子どもにゆきとどいた教育をすすめるのかよう学校をつくるための請願	不採択 多数意見
第51号	平成17年度松戸市公設地方卸売市場事業特別会計予算	可 決 多数意見	第3号	すべての子どもにゆきとどいた教育をすすめるのかよう学校をつくるための請願	不採択 多数意見
第52号	平成17年度松戸市老人保健事業特別会計予算	可 決 多数意見	平成16年度陳情		
第53号	平成17年度松戸市駐車場事業特別会計予算	可 決 全会一致	第6号	「食料・農業・農村基本計画」見直しに関する陳情	取 下 げ
第54号	平成17年度松戸市介護保険特別会計予算	可 決 多数意見	第7号	東京湾アクアライン通行料金の普通車800円による社会実験を要望する意見書採択に関する陳情	継 続 審 査
第55号	平成17年度松戸市水道事業会計予算	可 決 多数意見	第14号	周辺環境に配慮したマンション建設についての条例の制定を求める陳情	不採択 多数意見
第56号	平成17年度松戸市病院事業会計予算	可 決 全会一致	第15号	介護保険制度における見直しを求める陳情	不採択 多数意見
第57号	松戸市安全で快適なまちづくり条例の一部を改正する条例の制定について	可 決 多数意見	第17号	国民健康保険制度の改善・充実を求める陳情	不採択 多数意見
第58号	松戸市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の制定について	可 決 多数意見	第18号	介護保険制度の改善を求める陳情	不採択 多数意見
第59号	特別職の職員の給与及び費用弁償の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決 多数意見	第19号	介護保険の改善・充実を求める陳情	不採択 多数意見
第60号	松戸市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例の制定について	可 決 全会一致			
第61号	松戸市学童災害共済基金条例等の一部を改正する条例の制定について	可 決 全会一致			
第62号	松戸市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	可 決 全会一致			

人事案件

教育委員会委員一人の任期満了、固定資産評価員の退任に備え、それぞれの方の任命および選任に同意しました。(敬称略)

教育委員会委員

齋藤 功

固定資産評価員

前田 憲司



議案第49号平成17年度松戸市松戸競輪特別会計予算に関する附帯決議
 松戸競輪事業については、従来より年間千葉県施行8開催、本市施行4開催で行われていたが、平成16年11月千葉県知事と松戸市長との間で覚書が交わされ、平成17年度より県施行の8開催分を本市が引き継ぎ、当該事業の本市への一元化が決定された。
 このような決定がなされる一方で、全国的にも競輪事業の売上は年々減少して、各施行者は事業継続に苦慮しており、平成16年度の松戸競輪事業の本市施行分についても赤字収支が確認されている。
 また、一元化に伴う事業再構築において、千葉県から撤退に伴う一時金を受領するなどの協定が結ばれているが、それらを踏まえても今後の収益性を担保するのに十分であると判断できず、開催業務の包括委託のあり方など経費削減策、将来的に事業撤退を迫られたときのリスクへの対応策なども十分に示されているとは言えない。
 このような状況を鑑みると、当該事業の収益性や将来の見通しについてより慎重な判断が必要であり、事業一元化の利点が挙げられているものの、現時点で事業の全責任を背負うことは、将来に極めて大きな不安を残すと指摘せざるを得ない。
 しかし、すでに千葉県においては、千葉県自転車競走実施条例を廃止する条例が本年2月定例会議会で可決されており、覚書や協定書の締結など本市が積み上げてきた経過に照らして、ここに至って本会計予算を認めないことは、松戸競輪場の施設会社との関係や、働いている従事者の雇用などの現実的な問題を放棄することに等しい対応になると考える。
 したがって今後は、日本自転車振興会等に対する交付金制度の改善を図ることに加えて、絶えず事業の動向を把握分析して収益確保を至上の課題としながら、いよいよも当該事業が本市の財政負担となることのない事業執行を強く求め、ここに決議する。
 千葉県松戸市議会



松戸市議会表彰



河村 悠 和名ヶ谷中学校代表 浜川 優実 梅林 太郎 渡辺 昇議長 鳥居 彩乃 遠藤 太尊 第四中学校代表 柴田 浩后
(敬称略) 福田 敦美 池内 つかさ

個人表彰

梅林 太郎

鎌ヶ谷みどり幼稚園

平成16年度全国少年少女レスリング選手権大会

幼年の部年長21kg級第1位

鳥居 彩乃

市立六実第三小学校

第13回全国小学生バドミントン選手権大会

女子ダブルス4年以下優勝

遠藤 太尊

市立第一中学校

第47回小学生・中学生全国空手道選手権大会

個人戦中学一年生男子組手の部第1位

河村 悠

市立和名ヶ谷中学校

第37回手紙作文コンクール

手紙作文部門総務大臣特別賞

柴田 浩后

専修大学松戸高等学校

平成16年度全国高等学校総合体育大会

陸上競技女子やり投げ第1位

市立第四中学校

第17回全日本マーチングコンテスト

和名ヶ谷中学校吹奏楽部

第10回日本管楽合奏コンテスト

中学校の部B部門最優秀グラ

(敬称略)

団体表彰

第四中学校吹奏楽部

第17回全日本マーチングコンテスト

和名ヶ谷中学校吹奏楽部

第10回日本管楽合奏コンテスト

中学校の部B部門最優秀グラ

(敬称略)

6月定例会の開催予定について

平成17年6月定例会は、8日水から23日木まで開催される予定です。請願陳情は5月30日(月)正午までに提出してください。

期日	主な内容
8日水	招集日・本会議(議案説明)
9日木	本会議(一般質問)
10日金	" " "
11日土	" " "
12日水	予備日(一般質問が行われる場合があります。)
13日水	予備日(一般質問が行われる場合があります。)
14日水	予備日(一般質問が行われる場合があります。)
15日木	予備日(一般質問が行われる場合があります。)
16日金	健康福祉常任委員会(議案等審査)
17日金	健康福祉常任委員会(議案等審査)
18日土	教育経済常任委員会()
19日土	教育経済常任委員会()
20日土	都市整備常任委員会()
21日土	都市整備常任委員会()
22日土	本会議(議案等の議決)
23日土	本会議(議案等の議決)

お知らせ

市民の皆様にも広く傍聴していただくため、6月定例会より一日一常任委員会の開催といたします。問合わせ先 市議会事務局 (366) 7381

編集の窓

今年も市内の各地で、桜がきれいな花を咲かせてくれました。みなさんは、どこでお花見を楽しみましたでしょうか。3月定例会では、初日に市議会表彰が行われ、幼年のレスリング選手をはじめとして、若者たちの輝かしい業績が讃えられました。すべての子ども達に、希望ある未来に向かって力強く進んでほしいと、改めて願います。3月定例会は、予算議会ともいわれています。平成17年度の予算を審査する予算審査特別委員会を設置し、全議員の中から



次回発行予定は7月31日(日)です。

声の議会だよりをご利用ください。

松戸市障害者福祉センターでは、松戸朗読奉仕会の協力を得て、視覚障害の方を対象に、議会だよりを朗読したテープを希望者に貸し出ししております。詳しくは左記までご連絡ください。

松戸市障害者福祉センター(ふれあい22内)
TEL 383 7111
住所 松戸市五番西3 7 1